

2009 WBF Championship “Senri-Series”

千里シリーズ2009

奥山連覇&リベンジならず！杉原2年ぶりV！

杉原陽一（レギュラーシーズン優勝）

VS

奥山満夫（レギュラーシーズン4位）

2009年のWBFを締めくくる千里シリーズは10月31日、WBFの原点回帰の聖地‘ボウル曾根’で開催された。

今年度のレギュラーシーズンを勝ち抜いたのは杉原陽一選手。一昨年の千里シリーズを制覇するも、昨年度はプレーオフ進出すらできなかった屈辱をバネに、見事シーズン1位を獲得した。

この杉原選手への挑戦権をかけて予選ラウンドに挑んだのが藤原聡、松本誠司、奥山満夫の3選手（名前はシーズン順位の順）。激闘の末、奥山選手が勝ちあがり、千里シリーズは2年前と同じカードとなった。おかげで余談だがこの観戦記の70%は一昨年からの流用で書けたのは秘密である。ちなみに奥山選手は2007年度から3年連続で予選ラウンド勝ち上がりという、恐ろしいまでの勝負強さである。

3勝先取方式のファイナルラウンドでは、予選ラウンド突破の勢いそのままに序盤奥山選手が猛チャージをかけるが、杉原選手の腹黒い、もとい底堅いボウリングの前に失速、結局3勝1敗で杉原選手2年ぶり4度目の千里シリーズ制覇を果たした。

（レギュラーシーズン1位）
杉原陽一



ファイナルラウンド



予選ラウンド

藤原聡（レギュラーシーズン2位）

松本誠司（レギュラーシーズン3位）

奥山満夫（レギュラーシーズン4位）

●ファイナルラウンド第1戦

予選ラウンドの興奮も冷めやらぬまま、突入したファイナルラウンド、2年前のリベンジに燃える奥山選手がまず魅せた。予選ラウンドでレーンコンディションを掴んでいたアドバンテージを生かし、ここぞとばかりにストライクを連発して杉原選手を圧倒、悲願のWBF連覇に向けて幸先のよいスタートを切った。【杉原選手：『まあ最初はいつもこんな感じですよ』】

●ファイナルラウンド第2戦

第1戦で猛チャージをかけた奥山選手だったが、第2戦ではいきなり3連続オープンフレームの大乱調。しかしハンデ差7と杉原選手のスロースターターぶりに助けられ、手に汗握る大接戦となった。互いに相手を突き放す決定打に欠けたまま突入した第10フレーム、杉原選手がスピア+8本と稼いだのに対し、奥山選手はまさかのミスで勝負あり。杉原選手が1勝1敗の五分に戻す。【奥山選手：「9フレのスプットが痛すぎ」】

-68-

2009 WBF Championship “Senri-Series”

●ファイナルラウンド第3戦

杉原あわやフルマークで突き放す！

第3戦、ようやく杉原選手のエンジンがかかりだした。序盤手堅くマークを重ねたと思うと、圧巻は第6フレーム(↓網がけ)、難しいピン位置のスプリットを見事に沈め、ボウル曾根につめかけた観衆の度肝を抜いた。逆に奥山選手は予選ラウンドから数えて5ゲーム目ということもあって、徐々に疲れが見え始めてきたか、スコアに精彩を欠いたまま杉原選手の後塵を拝した。【杉原選手:「アレ(6フレの4-7-10)は狙ってましたよ。当然じゃないですか。」】

杉原陽一 (レギュラーシ リーズ優勝)	●...	...	●...	...	...	●●	●...	...	...	...	●●○	
	8 /	×	9 /	×	8 /	⑦ /	9 /	×	9 /	×	⑥ 3	0
	20	40	60	80	97	116	136	156	176	195		195
ハンデ込み 得点差⇒		↑5	↑7	↑18	↑16	↑16	↑20	↑31	↑23	↑23	2勝	HDCP
		↓6									1勝	競技点
奥山満夫 (レギュラーシ リーズ4位)	6 /	9 -	9 /	8 1	6 /	9 /	9 /	⑥ 3	×	×	8 1	7
	19	28	46	55	74	93	109	118	146	165		172
	●...	●...	●...	●...	●...	●...	●...	●●	●...	●...	●...	
	●	●	●	●	●	●	●	○●	●	●	○	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

●ファイナルラウンド第4戦

杉原堂々のパンチアウトで王座奪還！

第4戦、これが王者の勢いというものなのだろうか。それとも奥山選手の不運を嘆くべきなのだろうか。体力の限界が近づいてきた奥山選手を尻目に、杉原選手が畳み掛ける様は、実際の得点差以上のものを感じずにはいられなかった。ともあれ杉原選手が自身の4度目の千里シリーズ制覇を9フレからの4連続ストライクで祝うという、ドラマティックな幕引きで戦いは終わった。【奥山選手:「次はシーズン1位でファイナルに行きたい」】

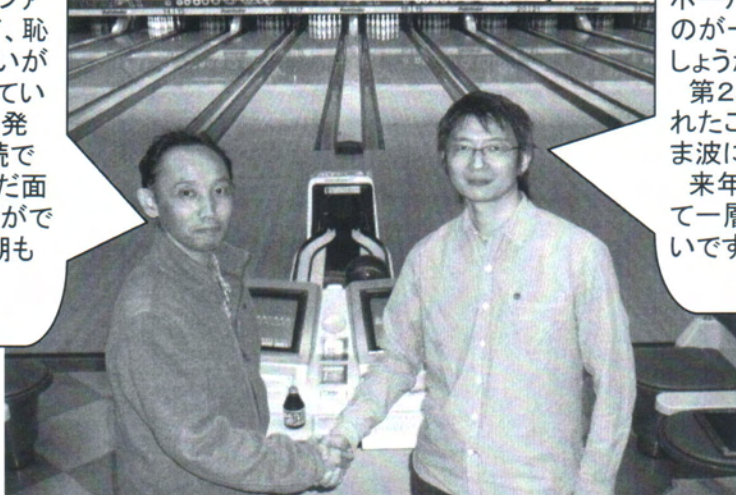
杉原陽一 (レギュラーシ リーズ優勝)	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○●	●●	●●	●●	
	8 /	8 /	9 /	×	×	8 /	×	⑧ 1	×	×	×	0
	18	37	57	85	105	125	144	153	183	213		213
ハンデ込み 得点差⇒		↑2	↑3	↑22	↑33	↑44	↑54	↑44	↑54	↑66	3勝	HDCP
		↓8									1勝	競技点
奥山満夫 (レギュラーシ リーズ4位)	×	7 2	×	⑧ 1	9 -	⑧ 1	9 -	6 /	9 /	×	6 2	7
	19	28	47	56	65	74	83	102	122	140		147
	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

2009 WBF Championship “Senri-Series”

惜しくも敗退した
奥山満夫選手

結果は残念だったが、3回連続ファイナリストとして、恥ずかしくない戦いができたと自負している。予選での瞬発力を本戦で持続できれば、まだまだ面白いボウリングができと思う。来期もがんばります。

激闘を終えて…



優勝した
杉原陽一選手

いつものハウスボールを確保できたのが一番の勝因でしょうか(笑)。

第2戦を僅差で取れたことで、そのまま波に乗れました。

来年も頂点めざして一層の精進をしたいと思います。

千里シリーズ過去の戦績

※1	1989	松本誠司	4 (○ ○ ○ ● ○)	1	松本昌士
	1990	奥山満夫	4 (● ● ● ○ ○ ○ ○)	3	下永義久
	1991	松本誠司	4 (○ ○ ● ○ ○)	1	島裕二
	1992	松本誠司	4 (○ ○ ○ ○)	0	島裕二
	1993	松本誠司	4 (○ ○ ○ ○)	0	田中寿美子
	1994	松本誠司	4 (● ○ ● ○ ○ ○)	2	島和男
	1995	白木建太郎	4 (● ○ ○ ○ ○)	1	田中久
	1996	野村正明	4 (○ ○ ● ● △ ○ ● ○)	3	松本誠司
	1997	杉原陽一	4 (○ ○ ○ ○)	0	松本香代
	1998	松本誠司	4 (○ ● ○ ● ○ ○)	2	白木建太郎
	1999	松本誠司	4 (○ ○ ○ ○)	0	杉原陽一
	2000	白木建太郎	4 (○ ○ ○ ○)	0	岩田修一
	2001	杉原陽一	4 (○ ● ● ○ ● ○ ○)	3	ロバート・K
	2002	白木建太郎	4 (● ● ○ ○ ○ ● ○)	3	松本誠司
※2	2003	松本昌士	3 (○ ● ○ ○)	1	◆松本誠司
	2004	◆白木建太郎	3 (○ ● ● ○ △ ○)	2	松本昌士
	2005	松本昌士	3 (○ ○ ○)	0	◆白木建太郎
	2006	岩田修一	3 (● ● ○ ○ ○)	2	◆松本誠司
	2007	◆杉原陽一	3 (○ ● ○ ● ○)	2	奥山満夫
	2008	奥山満夫	4 (○ ● ○ ○)	1	◆島和男.com
	2009	◆杉原陽一	4 (● ○ ○ ○)	1	奥山満夫

※1 島裕二が前後期制覇をしているため、総合優勝は島裕二と記録。特別企画の「千里G1クライマックス」として開催。

※2 2003年以降、千里シリーズの実施方式が変更。3勝先取で優勝。◆はレギュラーシーズン優勝